



株式会社クラレ

2024 年度第 3 四半期決算説明会

説明者

代表取締役 専務執行役員 経営企画室担当 多賀 敬治

2024 年 11 月 13 日

[億円]

	2024年度3Q	2023年度3Q	増減
売上高	6,148	5,744	405
営業利益	739	617	122
経常利益	703	578	126
親会社株主に帰属する 四半期純利益	466	365	101
	参考		
円／ドル（平均）	151	138	
円／ユーロ（平均）	165	150	
国産ナフサ 千円／kl	76	67	

多賀：皆さん、こんにちは。多賀でございます。本日はお忙しいところ、当社のカンファレンスコールにご参加いただきましてありがとうございます。

それでは、2024 年度第 3 四半期の決算説明を始めさせていただきます。

24 年度第 3 四半期の世界経済は、地域による温度差はあるものの、全体としては緩やかな成長となりました。米国では底堅い個人消費により、景気は堅調に推移しました。欧州は一部地域の低迷により、緩やかな景気回復にとどまりました。中国では不動産不況などにより、景気低迷が継続しました。また、混迷を深めるロシア・ウクライナや中東情勢など、地政学的な緊張がグローバルな経済活動のリスク要因になるなど、先行き不透明な状況が続きました。

このような環境のもと、当社グループの業績は、売上高は前年同期比 405 億円増の 6,148 億円、営業利益は 122 億円増の 739 億円、当期純利益は 101 億円増の 466 億円となりました。為替および原燃料の実績は資料にお示ししてある通りでございます。

セグメント別 売上高・営業利益

kuraray

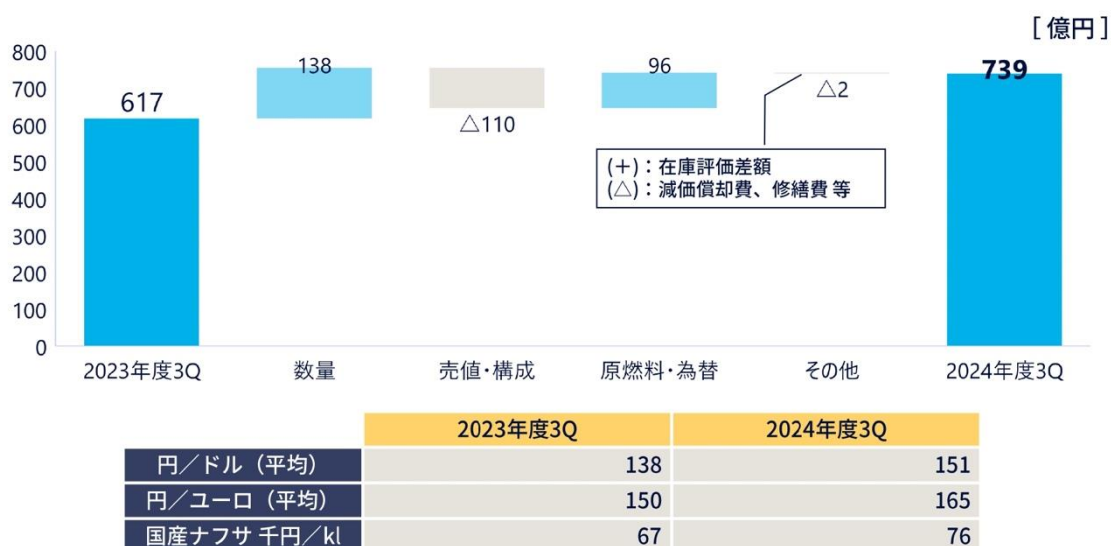
[億円]

	2024年度3Q		2023年度3Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	3,155	706	3,028	638	127	68
イソプレン	561	△56	468	△41	92	△15
機能材料	1,523	93	1,396	81	127	12
繊維	462	22	449	17	13	4
トレーディング	482	41	448	37	35	4
その他	371	19	340	6	31	13
調整額	△406	△86	△386	△122	△20	36
合計	6,148	739	5,744	617	405	122

このスライドでは、各セグメントの売上高および営業利益の実績を前年同期との比較で示しております。全てのセグメントで増収となり、営業利益についてはイソプレンセグメントを除き、増益となりました。

2024年度3Q営業利益増減分析

kuraray



© 2024 KURARAY CO., LTD.

4

このスライドでは、営業利益の増減要因の全社まとめを示しております。

数量は、景気が緩やかに成長したことにより、138 億円の増益要因となっています。売値・構成は、原燃料価格の推移に合わせた価格調整の影響で 110 億円の減益要因となりました。一方で、原燃料・為替は足元で原料価格が上昇しているものの、累計では、原燃料価格の下落と円安の影響で、96 億円の増益要因となりました。その他は、昨年あった在庫評価差額による利益の押し下げが今年はなくなった一方で、減価償却費や修繕費などの経費が増加したことにより、合計では 2 億円の減益要因となりました。

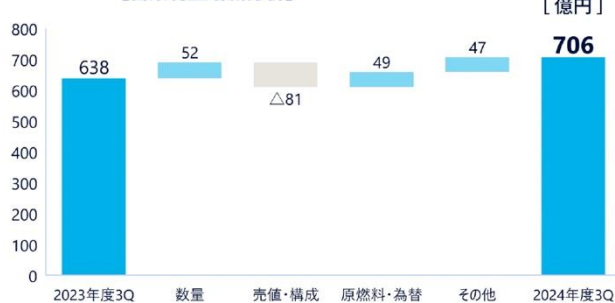
ビニルアセテートセグメントの概要

kuraray

[億円]

	2023年度3Q	2024年度3Q	増減
売上高	3,028	3,155	127
営業利益	638	706	68

【営業利益増減分析】



ポパール樹脂	欧州向け物流が混乱する中、グローバルな安定供給体制を背景に販売数量が増加。
光学用ポパールフィルム	順調な出荷が継続も、3Qに入りパネルメーカーの出荷調整の影響が顕在化。販売数量は前年同期並み。テレビ用パネル大型化の需要に応えるため、2Qに新設備の稼働を開始。
高機能中間膜	欧州の建築用途で景気低迷の影響が継続し、販売数量が減少。
水溶性ポパールフィルム	欧州で長引く景気低迷の影響を受けているものの、流通在庫の調整が進み、販売数量は増加。
〈エパール〉	食品包装用途は2Q以降回復基調となり、自動車用途も堅調に推移。販売数量は前年同期並み。シンガポールでの新プラントの建設（2026年末稼働予定）を1Qに決定。
主な増減要因	原燃料価格の変動に合わせ販売価格を調整。昨年大きな減益要因であった在庫評価差額の影響が無くなり、セグメント全体で大幅な増益。

© 2024 KURARAY CO., LTD.

5

ここからは、セグメント別に事業の状況を説明いたします。最初はビニルアセテートセグメントです。当セグメントは前年対比で増収増益となりました。各事業の販売の状況は、右上に記載のコメントをご覧ください。

営業利益は前年同期比で 68 億円増加しました。数量は、ポパール樹脂、水溶性ポパールフィルムの販売数量が増加し、52 億円の増益要因となりました。原燃料価格の推移に合わせた価格調整や販売構成などで、売値・構成は 81 億円の減益要因となりました。原燃料・為替は 49 億円の増益要因となりました。また、昨年あった在庫評価差額による利益の押し下げが今年はなくなり、その他は 47 億円の増益要因となりました。以上のことから、セグメント全体で増益となりました。

[億円]

	2023年度3Q	2024年度3Q	増減
売上高	468	561	92
営業利益	△41	△56	△15

イソプレンケミカル
エラストマー

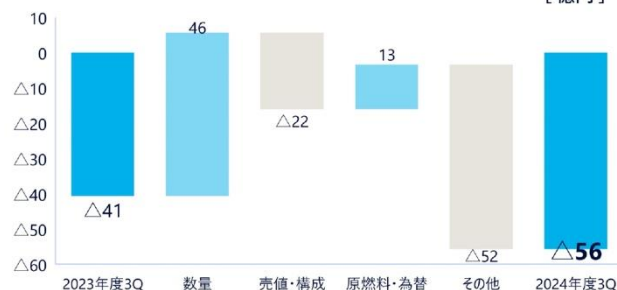
自動車用途などを中心に需要が回復し、販売数量が増加。

〈ジェネスタ〉

堅調な自動車用途に加え、電気・電子用途でも需要が回復し、販売数量が増加。

【営業利益増減分析】

[億円]



主な増減要因

タイ拠点稼働に伴う拡販により販売数量は増加。
原燃料価格の変動に合わせ販売価格を調整。
減価償却費負担や在庫評価差額の影響もあり、セグメント全体では減益。

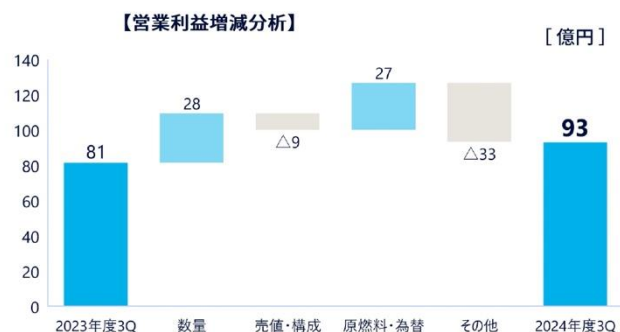
イソプレンセグメントです。当セグメントは前年対比で増収減益となりました。各事業の販売の状況は記載のコメントをご覧ください。

数量は、タイ拠点稼働に伴う拡販などにより販売数量が増え、46 億円の増益要因となりました。原燃料価格の推移に合わせた価格改定や販売構成の変化により、売値・構成は 22 億円の減益要因となりました。原燃料・為替は円安の影響などにより 13 億円の増益要因となりました。

一方で、タイ拠点の減価償却費負担や在庫評価差額の影響などにより、その他は 52 億円の減益要因となりました。イソプレンケミカル、エラストマー、〈ジェネスタ〉、いずれの事業も前年同期比で販売数量を伸ばしております。引き続き販売の拡大を図ってまいります。

[億円]

	2023年度3Q	2024年度3Q	増減
売上高	1,396	1,523	127
営業利益	81	93	12



メタアクリル	電気・電子用途を中心に需要の回復が見られ、販売数量が増加。メタクリル酸メチルの生産能力の縮小を2Qに決定。
メディカル	審美治療用歯科材料の販売が欧米を中心に順調に推移。
環境ソリューション	欧州の産業用途では景気低迷による影響が見られたものの、北米の飲料水用途を中心に、活性炭の販売が堅調に推移。米国の活性炭新設備は1Qに稼働を開始。
主な増減要因	メディカルでは販売数量が増加。活性炭の減価償却費やメディカルの販売費など経費が増加するも、原燃料価格の落ち着き、円安による増益でカバー。

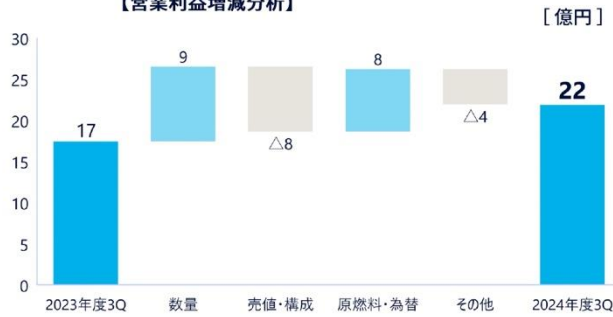
機能材料セグメントは前年同期比で増収増益となりました。各事業の販売の状況は記載のコメントの通りです。

数量はいずれの事業も販売数量が増え、増益要因となりました。特にメディカルが順調に推移しました。原燃料・為替は27億円の増益要因になりました。その他は、環境ソリューションの米国活性炭新設備稼働に伴う減価償却費の増加およびメディカルで拡販のための経費の増加があり、33億円の減益要因となりましたが、セグメント全体では増益を確保しました。

[億円]

	2023年度3Q	2024年度3Q	増減
売上高	449	462	13
営業利益	17	22	4

【営業利益増減分析】



〈クラリーノ〉	自動車用途やスポーツ用途の需要回復により、販売数量が増加。
繊維資材	自動車用途で需要の回復が見られたものの、欧州の建材用途などが低調。
生活資材	不織布〈クラフレックス〉、面ファスナー〈マジックテープ〉ともに需要が低調。不織布事業において、乾式不織布の事業撤退、及びメルトブローン不織布の生産能力縮小を3Qに決定。

主な増減要因	販売数量の増加、円安によるプラス影響、昨年減益要因であった在庫評価差額の縮小等により、セグメント全体で増益。
--------	--

繊維セグメントは前年同期比で増収増益となりました。各事業の販売の状況は、右上のコメントの通りです。

数量は主に〈クラリーノ〉で販売数量が増え、増益要因となりました。原燃料・為替は8億円の増益要因となりました。一方で、販管費の増加などにより、その他は4億円の減益要因となりました。

[億円]

	2024年9月末	2023年12月末	増減
流動資産	5,519	5,517	2
固定資産	7,024	7,028	△3
資産合計	12,543	12,545	△2

	2024年9月末	2023年12月末
円／ドル（期末）	143	142
円／ユーロ（期末）	159	157

このスライドでは、貸借対照表の資産の部を昨年末と比較しております。

流動資産は2億円の増加となりました。これは、現預金が198億円減少した一方で、為替が円安に振れたことなどにより、棚卸資産が263億円増加したことによるものです。固定資産は、設備投資による増加があった一方、事業ポートフォリオの高度化に伴う事業整理などにより、3億円の減少となりました。

貸借対照表②(負債と純資産の部)

kuraray

[億円]

	2024年9月末	2023年12月末	増減
流動負債	2,083	2,006	77
固定負債	2,988	3,178	△189
負債合計	5,071	5,183	△112
純資産合計	7,472	7,362	111
負債・純資産合計	12,543	12,545	△2
自己資本比率	58.1%	56.9%	1.2%

	2024年9月末	2023年12月末
円／ドル（期末）	143	142
円／ユーロ（期末）	159	157

© 2024 KURARAY CO., LTD.

10

このスライドでは、貸借対照表の負債と純資産の部をお示ししております。

負債は借入金の返済などにより 112 億円の減少となりました。純資産は、為替換算調整勘定が 37 億円増えた影響などにより、111 億円の増加となりました。この結果、自己資本比率は 1.2%上昇し、58.1%となりました。

[億円]

	2024年度予想 (2024年11月13日)	2023年度実績	増減	2024年度予想 (2024年8月9日)	増減
売上高	8,350	7,809	541	8,500	△150
営業利益	890	755	135	890	0
経常利益	840	690	150	840	0
親会社株主に 帰属する当期純利益	550	424	126	550	0
<参考>					
円／ドル（平均）	151	141		149	
円／ユーロ（平均）	163	152		160	
国産ナフサ 千円／kl	75	68		77	

第3四半期までの業績および足元の事業環境を踏まえ、通期業績予想を修正いたします。

売上高は前回公表より150億円減の8,350億円を見込みます。営業利益、経常利益、当期純利益については変更ございません。

2024年度 株主還元

kuraray

- 2024年10月31日に自己株式（1,102万株）の取得が終了
2024年11月13日の取締役会において自己株式（3,000万株）の消却を決定

	配当金 1株当たり40円以上／年	自己株式の取得 弾力的に実施	総還元性向 35%以上
23年実績	中間 25円 期末 25円 年間 50円	—	39.4%
24年予定	中間 27円 (+2円) 期末(予定) 27円 (+2円) 年間(予定) 54円 (+4円)	200億円 (2024年5月15日～ 2024年10月31日まで実施)	約68%

© 2024 KURARAY CO., LTD.

12

当社は、株主に対する利益配分を経営の重要課題の一つとして位置づけており、中期経営計画「PASSION 2026」では、総還元性向 35%以上かつ 1 株につき年間配当金 40 円以上を基本方針とし、収益拡大を通じた株主還元の充実を図ることとしております。

2024 年度の配当予想に変更はなく、中間配当および期末配当予想をそれぞれ 1 株 27 円としており、1 株当たり年間配当金は 54 円となる見込みです。また、2024 年 5 月 14 日開催の取締役会決議に基づき、本年 10 月 31 日までに自己株式 1,102 万株、約 200 億円の取得を完了しました。配当金に自己株式の取得を加えますと、総還元性向は約 68%となります。

加えて、本日開催の取締役会におきまして、自己株式 3,000 万株を 2024 年 11 月 29 日付けで消却することを決定しました。なお、この 3,000 万株は消却前の発行済株式総数に対する割合で 8.45%となります。今後も引き続き株主還元の充実を図ってまいります。

13 ページ目以降は、修正した業績予想のセグメント別比較および詳細な係数情報となりますので、参考までにご覧ください。

以上で説明を終わります。ありがとうございました。

【参考】セグメント別 売上高・営業利益比較

kuraray

[億円]

	2024年度予想 (2024年11月13日)		2023年度 実績		増減		2024年度予想 (2024年8月9日)		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
ビニルアセテート	4,200	880	4,068	863	132	17	4,230	850	△30	30
イソプレ	760	△80	657	△109	103	29	775	△70	△15	△10
機能材料	2,100	140	1,898	103	202	37	2,150	150	△50	△10
繊維	660	20	619	18	41	2	690	35	△30	△15
トレーディング	670	57	616	52	54	5	670	57	0	0
その他	510	20	457	5	53	15	465	25	45	△5
調整額	△550	△147	△504	△178	△46	31	△480	△157	△70	10
合計	8,350	890	7,809	755	541	135	8,500	890	△150	0

【参考】セグメント別 四半期売上高推移

kuraray

[億円]

	2023年度					2024年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q (予想)	通期 (予想)
ビニルシート	978	1,011	1,039	1,040	4,068	990	1,098	1,067	1,045	4,200
イソレン	158	160	150	188	657	172	204	185	199	760
機能材料	454	480	463	501	1,898	487	540	496	577	2,100
繊維	135	166	148	169	619	138	174	150	198	660
トレーディング*	138	152	158	168	616	153	169	160	188	670
その他	113	115	111	117	457	117	133	121	139	510
調整額	△127	△124	△135	△118	△504	△136	△128	△142	△144	△550
合計	1,850	1,960	1,934	2,066	7,809	1,922	2,190	2,036	2,202	8,350

【参考】セグメント別 四半期営業利益推移

kuraray

[億円]

	2023年度					2024年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	通期	1Q	2Q	3Q	4Q (予想)	通期 (予想)
ビニルセテート	178	224	235	226	863	248	191	267	174	880
イソプレソ	2	△29	△14	△68	△109	0	△40	△15	△24	△80
機能材料	35	23	24	22	103	32	32	28	47	140
繊維	2	4	11	1	18	△2	10	15	△2	20
トレーディング	11	12	14	14	52	13	14	14	16	57
その他	1	5	0	△1	5	4	5	10	1	20
調整額	△16	△42	△63	△56	△178	△8	△45	△33	△61	△147
合計	213	196	207	138	755	288	167	285	151	890